
鈴鹿峠

ドラキュラ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

鈴鹿峠

【Nコード】

N3869D

【作者名】

ドラキュラ

【あらすじ】

何人も拒む峠に響き渡る声は哀しみの声で満ちていた。何故、貴方はそんなに泣いているのでしょうか？

(前書き)

鈴鹿御前を想う夜叉王丸の独白です。

その昔、人ではない者が人を恋し己の身の上を恨みつつ恋した者の刃を受け露と消えた。

そんな哀しい伝説があると聞いてきたのだ。

雨が降る峠の道は、けぶる霞の中に在り険しい山々は、その裾野を白き衣で包み込む。

誰も入り込む事など許すものか。

山が静かに入るのを拒絶した。

誰も、何人たりとも、この峠に入り込む事など許すものか。

重ねた声が静かに響き渡った。

しかし、その声は、恨みは込められていなかった。

込められていたのは……………

誰よりも、哀しみの声で、哀しみの雨で……………

静かに哀しみに暮れて泣く声で、哀しみに満ち溢れた雨で……………

……………今も恋しているのだと、この山に、峠に心を閉じ込めているのだと言っているのですか？

．．．．．だから、誰も、この峠に近寄ってくれるなど言っているのですか？

．．．．．鈴鹿御前よ。貴方が朝夕に髪を梳きつつ眺めていた．．．
．．．．．鏡の岩が山の中腹にあります。

朽ち果てた、その岩に、貴方は．．．．．まだ映しているのでしょうか？

．．．．．朽ち果てぬ。

．．．．．朽ち果てる事の無い。

．．．．．その人への想いを

．．．．．永遠に朽ち果てぬ、人を恋慕う想いを、この鈴鹿峠に

曇った鏡に、貴方は．．．．．恋い慕う想いを映し、この峠に想いを閉じ込めているのですか？

(後書き)

初めての詩でした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3869d/>

鈴鹿峠

2011年1月16日06時59分発行